

LEDシーリングライト

東芝LED照明器具(家庭用)

取扱説明書 保管用



器具形名	
～6畳:	LEDH80379W-LD LEDH80379L-LD LEDH80382W-LD LEDH80382L-LD
～8畳:	LEDH81379W-LD LEDH81379L-LD LEDH81382W-LD LEDH81382L-LD
～10畳:	LEDH84379W-LD LEDH84379L-LD LEDH84382W-LD LEDH84382L-LD
～12畳:	LEDH82379W-LD LEDH82379L-LD LEDH82382W-LD

日本国内専用
Use only in Japan

このたびは東芝LED照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

工事終了後、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

もくじ

使う前に

安全上のご注意	2
お知らせ	3
各部のなまえと付属品	4
取り付け前の確認	5
取り付けかた	5～6
取りはずしかた	6
チャンネルの設定方法	6

使いかた

あかりをつける	7
壁スイッチで操作	7
リモコンで操作	7
明るさの調整	7
明るさのメモリ	7
ゆっくりおやすみタイマー予約のしかた	7

必要なときに

お手入れのしかた	8
故障かな?と思ったら	8
仕様	8
保証とアフターサービス	8

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害・損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

	警告	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
	注意	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

	中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。
	中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。
	中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

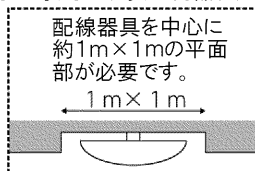
警告



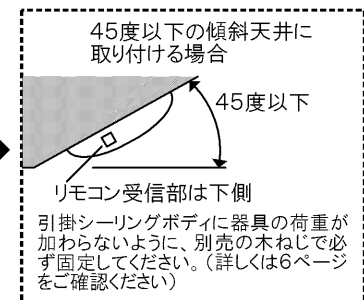
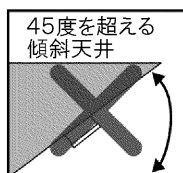
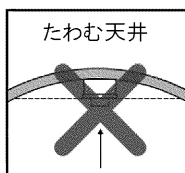
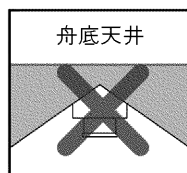
- 分解・修理・改造はしない**
(火災・感電・落下してけがの原因)



- 次の場所には取り付けない**
(取り付けが確実でない場合、火災・感電・落下してけがの原因)
天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。
◎この器具は天井取り付け専用です。照明器具がガタついたり、簡単に回転したりする場合は、取り付けが不十分です。



配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。



- 次の配線器具には取り付けない**
(火災・感電・落下してけがの原因)

次の場合は、配線器具の交換を電気店・工事店にご依頼ください。配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

- 破損しているもの



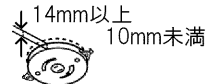
- グラグラしているもの・取り付けが不十分なもの



- 電源端子露出タイプ
電源端子



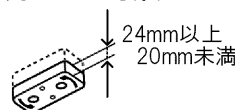
- 埋込・露出引掛シーリング・配線器具が埋め込まれたもの



- ケースウェイに取り付けられたもの



- 角形・丸形引掛シーリング



- 角型シーリングハンガーが取り付けられたもの

- 調光器(当社商品名:「コントロールクス」など)による調光使用はしない**
(破損・発煙の原因)

- 紙や布などを器具にかぶせたり、器具の近くに置いたりしない**
(火災の原因)

⚠ 注意



禁止

●屋外や湿気の多い場所で使用しない

(火災・感電の原因)

◎この器具は非防水です。

●温度の高い場所では使用しない

(火災の原因)

暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは、使用しないでください。

◎この器具が使用できる温度は、5℃～35℃の範囲です。

●LED光源を直視しない

(目に障害のおそれ)

●光源部は手で押さえない

(やけどの原因)



接触禁止

●点灯中や消灯直後は、器具に触らない

(やけどの原因)



指示

●交流100Vの電圧で使用する

(火災・感電の原因)

●1年に1回の「安全チェックシート」による自主点検、および3年に1回の工事店などの専門家による点検を実施する

(点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙・発火・感電の原因)

◎「安全チェックシート」は、当社のホームページに掲載しています。

●お手入れをするときは壁スイッチを切る

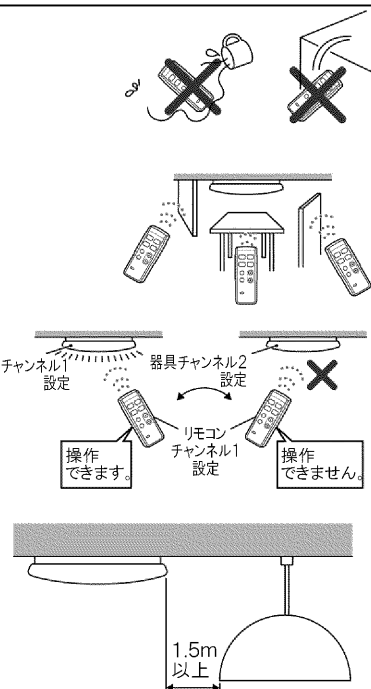
(感電の原因)

■ご使用についてのお知らせ

- LED光源は器具に組み込みのため、交換できません。
- LED光源にはバラつきがあるため、同じ形名の商品でも商品ごとに発光色や明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面などによって、光ムラが発生することがあります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8年～10年たつと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しているため、点検・交換をおすすめします。
※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- 周囲の温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- アダプターは専用(付属)のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると、落下や破損するおそれがあります。
- 必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください。
- 器具を長時間使用しないときは、壁スイッチを切ってください。
リモコンで消灯していても瞬時停電などにより点灯してしまうことがあり、不在中、長時間点灯したままといった事態もあります。
- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り換わらない場合があります。
- 照明器具を取りはずした際に、天井や内装材の材質、使用環境などにより、パッキンの跡がついたり、変色する場合があります。
- 酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のところ(温泉地など)では、使用しないでください。短寿命の原因となります。

■リモコンについてのお知らせ

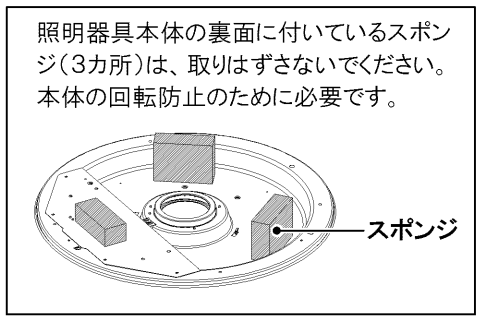
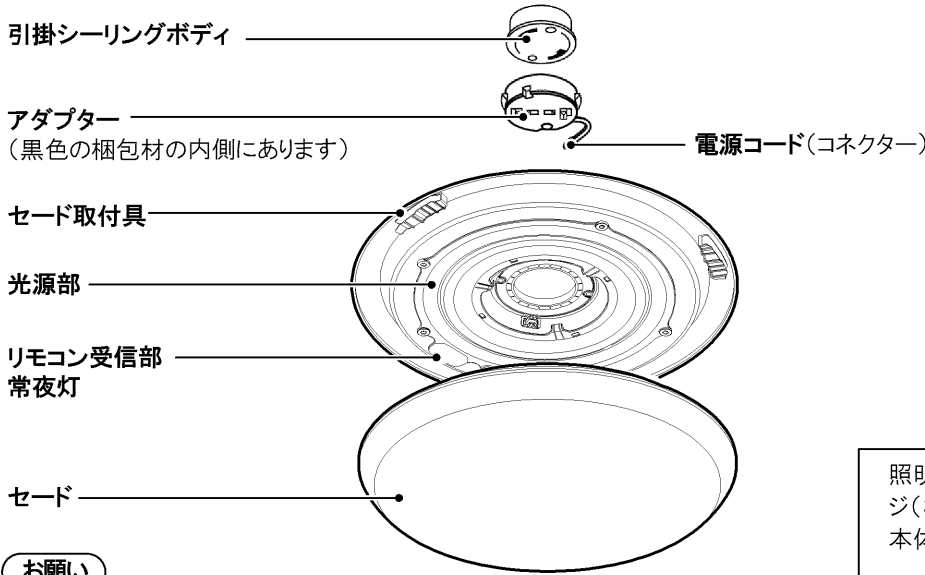
- リモコンは当社の照明器具専用です。テレビなど他の機器には使用できません。
- リモコンは照明器具の壁スイッチがONのときのみ切り換えできます。
- リモコンで消灯した場合は、約0.5W以下の電力を消費します。(マイコンを使用しているためわずかな電流が流れます)長時間使わないときは、壁スイッチを切ってください。
- リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 照明器具とリモコンの間に、信号をさえぎるものがある場合は、照明器具が動作しないことがあります。その場合はさえぎるものを避けて、リモコンを操作してください。
- 天井、壁、床の色や材質によって、操作距離が短くなる場合があります。
- リモコンの送信部と照明器具の受信部は、よごれると動作しにくくなります。よごれたら乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗すると動作しにくくなりますので、その場合は新しい電池と交換してください。(→5ページ)
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や全光点灯時、調光時などに、リモコンで切り換えにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから切り替えてください。
- リモコンで消灯した後に停電が発生した場合、全光点灯などになることがあります。
- 2台の照明器具を一つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。(→6ページ)
- インバーター照明器具が取り付けられた部屋で使用する場合は、インバーター照明器具から1.5m以上離して取り付けてください。



各部のなまえと付属品

お買い上げの商品と取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

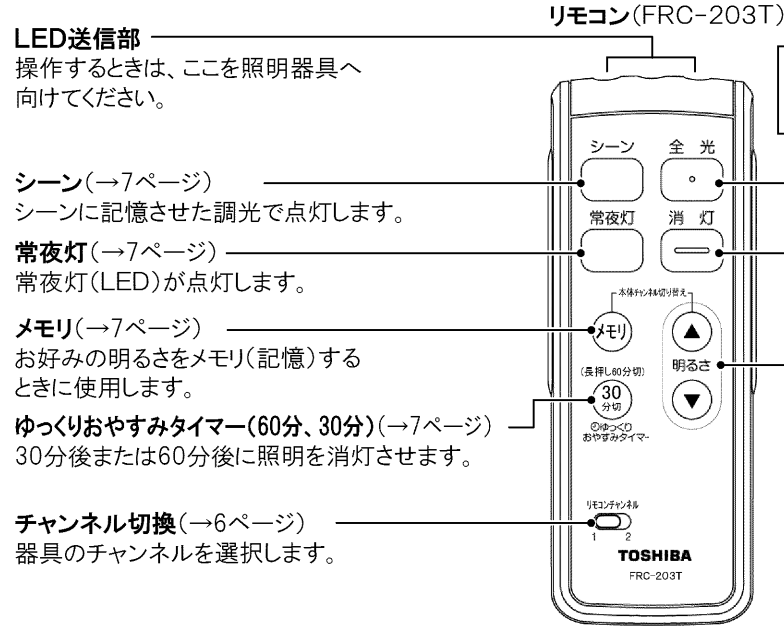
照明器具



お願い

- アダプターは、専用(付属)のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると、落下や破損するおそれがあります。
- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は、電源コネクターを一度はずして、取り付け直してください)

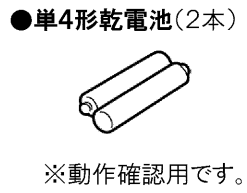
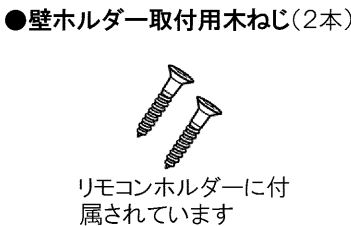
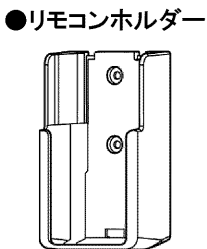
リモコンとリモコン付属品



ご注意 リモコン本体の前面には保護シート(透明)が貼ってあります。

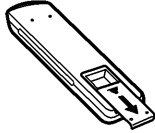
- 全光 (→7ページ) 全光点灯します。
- 消灯 (→7ページ) 照明を消灯させます。
- 明るさ (→7ページ) 明るさが変わります。
・全般照明:100~約10%
・常夜灯:6段階の明るさの調整ができます。

(注)常夜灯が点灯していない状態では操作できません。

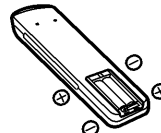


■乾電池の入れかた 単4形乾電池を2本ご使用ください。

1 裏面のカバーを軽く押さえながら、手前に引く



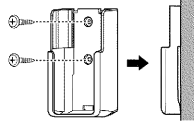
2 表示に合わせて極性(+)を間違えないように入れて、カバーを閉める



■リモコンホルダーの使いかた

リモコン送信機の紛失を防止するため、リモコンホルダーが同梱されています。壁面に取り付けてご使用ください。リモコンがききにくい場合は、リモコンホルダーからはずして送信部を照明器具に向けて操作してください。

付属の木ねじで壁に取り付ける



お願い

- 乾電池を交換するときは、必ず同時に2本とも新しいものに交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池をはずしてください。液漏れなどでリモコンを傷める原因となります。

お知らせ

乾電池の寿命の目安は、1日10回使用した場合で約9カ月です。

取り付け前の確認

天井の配線器具の確認

●天井に付いている引掛シーリングボディを確認してください。

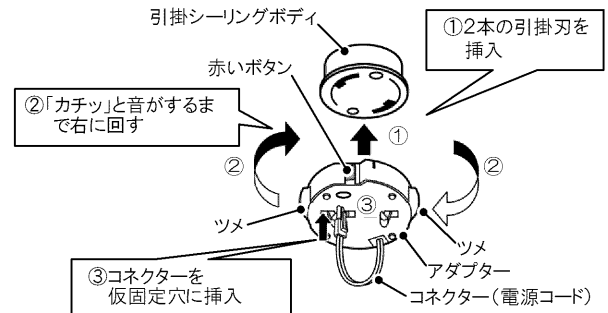
天井に右図の引掛シーリングボディが付いていれば、取り付けられます。右図以外の引掛シーリングボディの場合、または引掛シーリングボディが設置されていない場合は、取り付けられません。電気店・工事店にご相談ください。配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに適用しています。	
天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディ	天井からの出しろが11mmの引掛シーリングボディ
角形・丸形引掛シーリングボディ	埋込引掛シーリングボディ

取り付けかた **安全のため、電源を切った状態で取りはずしてください。**

1 引掛シーリングボディにアダプターを取り付ける

- ① アダプターの2本の引掛刃を引掛シーリングボディに挿入する
 - ② 「カチッ」と音がするまで右に回す
 - ③ コネクターを仮固定穴に挿入する
 - ④ 赤いボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認する
- アダプターの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

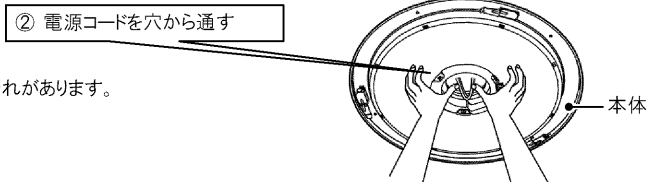


2 本体を取り付ける

- ① 本体の中央の穴にアダプターの位置を合わせる
- ② アダプターの電源コードを本体の中央の穴に通す

- 警告**
- 本体は必ず両手で支えて押し上げてください。
 - 光源部を手で押さえないでください。
 - 本体の側面を持って押し上げないでください。破損するおそれがあります。

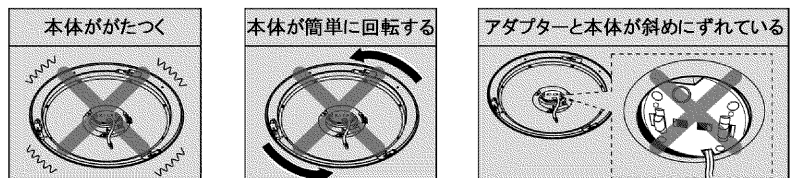
③ 「カチッ」と音がするまで本体を押し上げる



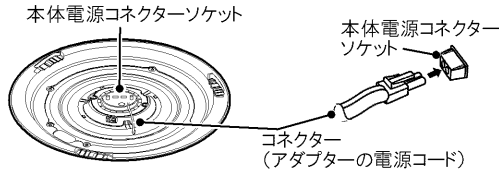
<p>天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディの場合</p> <p>角形・丸形引掛シーリングボディ</p> <p>「カチッカチッ」と2回音がするまで本体を押し上げてください。</p> <p>アダプターを横から見た図</p> <p>天井 引掛シーリングボディ</p> <p>1段目</p> <p>2段目</p> <p>アダプター</p> <p>本体</p> <p>ツメ</p> <p>● 2回押し上げると、アダプターのツメが両方見えます。</p>	<p>天井からの出しろが11mmの引掛シーリングボディの場合</p> <p>埋込引掛シーリングボディ</p> <p>「カチッ」と1回音がするまで本体を押し上げてください。</p> <p>アダプターを横から見た図</p> <p>天井 引掛シーリングボディ</p> <p>1段目</p> <p>2段目</p> <p>アダプター</p> <p>本体</p> <p>ツメ</p> <p>● 1回押し上げて、アダプターの詰めを金属の段に取り付けてください。アダプターのツメは見えなくなります。</p>
--	---

④ 本体の取り付け状態を確認する

- 右図の場合は再度取り付け作業を行い、取り付け状態を確認してください。



3 コネクタをソケットに差し込み、 抜けないことを確認する



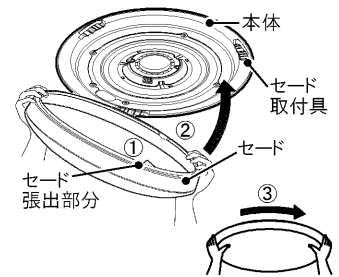
- コネクタを差し込んだ後に、本体を回転させないでください。コネクタがはずれて、発熱・発火の原因となります。

4 セードを取り付ける

- ① セードの張出部分を、本体側のセード取付具とセード取付具の間に合わせる
- ② セードを持ち上げる
- ③ セードを止まるまで右に回す
- ④ セードを軽く下に引っ張って、はずれないことを確認する

お願い

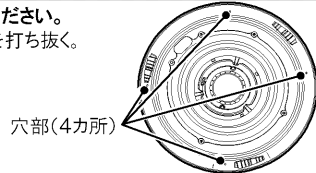
すべてのセード取付具にセードが取り付けられたことを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となることがあります。



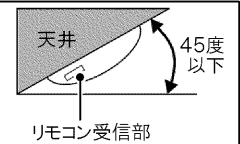
本体が安定しない場合や傾斜天井(45度以下)に取り付ける場合

- 別売のスペーサー(4個)と木ねじ(4本)を使用して固定してください。

- ① 本体の表面からドライバーなどでラベルごと取り付け穴部(4)を打ち抜く。



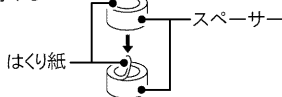
リモコン受信部側が傾斜方向の下側に位置するように、取り付けてください。



引掛シーリングボディに照明器具の荷重が加わらないように、本体を木ねじで必ず固定してください。落下してけがの原因となります。

お願い

- ② スペーサー(別売)のはくり紙をはがし、①の本体表面の穴部分に貼り付ける



- ③ アダプターに本体を取り付けてから、木ねじで本体を固定する(4カ所)

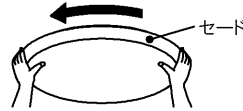


スペーサー・木ねじセット
形名 SPACER-N



取りはずしかた **安全のため、電源を切った状態で取りはずしてください。**

1 セードを止まるまで左に回し、取り外す



2 本体を取りはずす

- ① 電源コードのコネクタをつまみながら、ソケットから引き抜く

- ② 両手で本体を支えながら、アダプターのレバーを矢印の方向に押し本体をはずす

警告 本体を必ず両手で支えながら、はずしてください。本体が落下してけがの原因となります。

チャンネルの設定方法

チャンネルの合わせかた …同一の照明器具を2台使用する場合

○お買い上げ時(工場出荷時)は、照明器具・リモコンのチャンネルは「1」に設定してあります。

通常のご使用の場合は、チャンネル設定・変更は必要ありません。お買い上げ時のままでご使用いただけます。

チャンネルの設定を変更すると、こんな使いかたができます

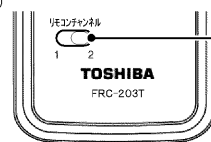
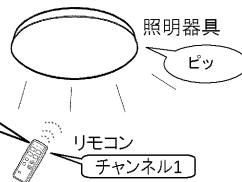
- ゆっくりおやすみタイマーで照明器具を消す場合、消灯するか常夜灯にするか選べます
ゆっくりおやすみタイマー終了時の照明器具の状態、チャンネル「1」:消灯、チャンネル「2」:常夜灯 (ゆっくりおやすみタイマー → 7ページ)
- 2台の照明器具を一つのリモコンで個別に操作したい
2台の照明器具をそれぞれ違うチャンネルにします。

■照明器具とリモコンのチャンネルを「2」にする場合

1 リモコンで照明器具が操作できるか確認する

- リモコンのチャンネルスイッチが「1」で、全光・シーン・常夜灯・消灯等の操作ができれば、照明器具のチャンネルは「1」の状態です。

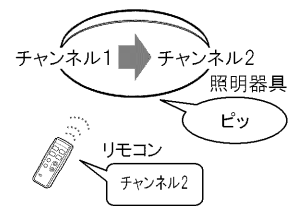
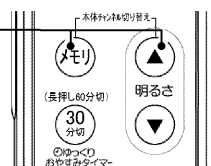
リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください。



2 「リモコンチャンネル」スイッチを「2」に合わせる

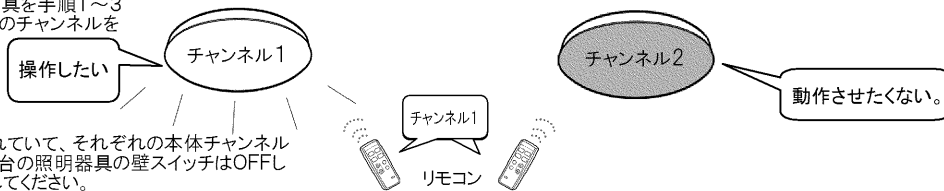
3 「メモリ」を押しながら「明るさ▲」を押す

- 「ピーツ」と音が鳴って、照明器具のチャンネルが「2」に変更されます。
- リモコンのチャンネルスイッチが「2」で、全光・シーン・常夜灯・消灯等の操作ができることを確認してください。
- 再度設定を変更する場合は、手順2、3の操作を繰り返すごとに照明器具のチャンネルは「1」→「2」→「1」…と変更されます。



※2台の照明器具を一つのリモコンで個別に操作する場合

- 2台のうち1台の照明器具を手順1~3までの操作で照明器具のチャンネルを「2」にしてください。



※照明器具が2台設置されていて、それぞれの本体チャンネルを「1」と「2」にする場合、1台の照明器具の壁スイッチはOFFしてから、手順1~3を操作してください。

あかりをつける

壁スイッチで操作

■点灯・消灯する

前回と同じ点灯状態で点灯します。



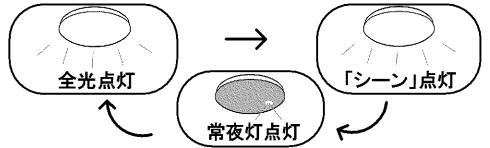
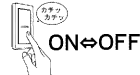
消灯します。点灯状態(明るさ)が記憶されます。



■点灯状態を切り換える

●壁スイッチを約1秒以内にOFF→ONすると、点灯状態が以下のとおりに切り換わります。

●一つの壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り換わらない場合があります。



お知らせ

- 壁スイッチを「OFF」にする前にリモコンで消灯した場合は、再び壁スイッチで「ON」にすると、常夜灯が点灯します。
- 「シーン」のお買い上げ時の設定は、約70%調光です。リモコンでお好みの明るさに設定することができます。
- 壁スイッチで切り替えて常夜灯を点灯した場合は、リモコンで設定した常夜灯の明るさで点灯します。

リモコンで操作

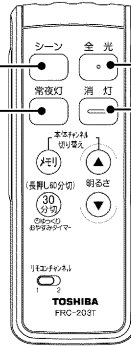
●リモコンは照明器具の壁スイッチがONのときに使うことができます。

■シーンを選びます

- 「シーン」に記憶させた明るさで点灯します。「シーン」ボタンに記憶させる方法は、7ページ「明るさのメモリ」をご覧ください。

■常夜灯が点灯します

- 調整した常夜灯の明るさで点灯します。



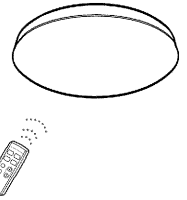
■全光点灯します

- 消灯した状態からは、3秒程でゆっくり点灯します。

■消灯します

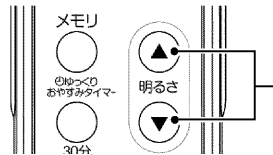
- 全光点灯した状態からは、3秒程でゆっくり消灯します。

リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください。



明るさの調整

●全光点灯は100%～約10%、常夜灯は6段階の明るさの調整ができます。



照明が点灯している状態で、「▲」または「▼」ボタンを押す

- 1回押すと、1段ずつ明るさが変化します。
- 押したままにすると、連続して調整できます※。
- 1回ずつ押し続けていき明るさが上限・下限に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ビピッ」と音が鳴ります。押したままの状態でも明るさの上限・下限に達した場合は、これ以上の調整ができないお知らせとして「ビッ」と音が鳴ります。

※冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。その場合は、1回ずつ押し調整してください。

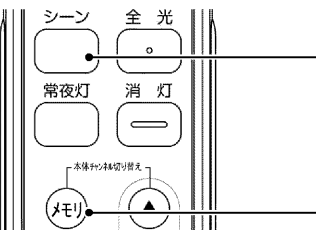
お知らせ

- 調整できる明るさの段階は、右表の通りになります。
- 常夜灯の明るさは、常夜灯が点灯した状態で調整してください。調整した明るさは、メモリ(記憶)されます。

光色	明るさの段階
昼白色(全光)	20段階 (約10%～100%)
常夜灯	6段階

明るさのメモリ …調光状態を記憶させるために

●お好みに調整した照明の明るさを、シーンボタンにメモリ(記憶)させることができます。



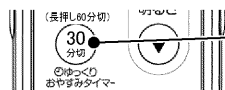
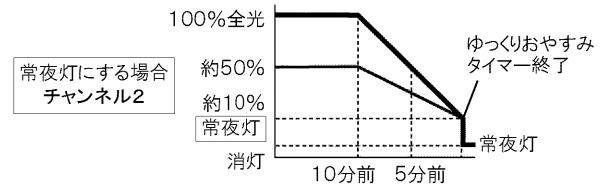
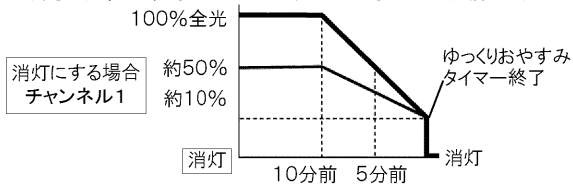
「メモリ」ボタンを押しながら、「シーン」ボタンを押す

- 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光状態がメモリされます。
- すでにメモリした設定を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

工場出荷時は、以下に設定してあります。
シーン: 明るさ約70%

ゆっくりおやすみタイマー予約のしかた …30分、または60分後にゆっくり消灯、または常夜灯にします

ゆっくりおやすみタイマーとは 設定した時刻の10分前から少しずつ暗くなっていき、消灯または常夜灯が点灯します。



「30分切」を押す、または「30分切」を長押しする

- 「30分切」を押すと「ビピッ」と2回音が鳴り、30分後に消灯します。
- 「30分切」を長押しすると「ビピピッ」と3回音が鳴り、60分後に消灯します。

■消灯/常夜灯の設定

チャンネルの設定によって、ゆっくりおやすみタイマーで消灯するか常夜灯にするかを選ぶことができます。お買い上げ時は、本体・リモコンが「チャンネル1」に設定されています。チャンネル設定のしかたは、6ページ「チャンネルの合わせかた」をご覧ください。

●消灯にする場合: 「チャンネル1」 ●常夜灯にする場合: 「チャンネル2」

お知らせ

- ゆっくりおやすみタイマーを解除する場合は、点灯ボタン(「全光」「シーン」「常夜灯」「消灯」ボタンなど)を操作してください。
- 常夜灯が点灯しているときにゆっくりおやすみタイマーを設定した場合、チャンネル設定が「チャンネル1」「チャンネル2」どちらの場合でも、30分後又は60分後に消灯します。この場合、ゆっくり暗くなりながら消灯しません。

